

判別分析手法を用いた行動推定手法の提案

行動推定

- 老人福祉の現場では...

- 介護士さんが一日の終わりに作業報告書を作成する必要がある。
- しかし、重労働による疲れや時間的な制約から、作業報告書の作成が大きな負担になっている。



- 加速度センサと判別分析手法を用い、一日の行動を自動で推定・記録するシステムを提案する。



加速度センサの装着例

将来的にはスマートフォン内蔵の慣性センサを用いた行動推定への展開を図る。



現段階では、行動推定に用いる特徴量の評価と判別分析手法の比較検討を行っている。

2010年度：マハラノビスの距離

2011年度：加々速度 + Y・Z軸絶対値の平均値

本研究を進めるにあたって収集した延べ 30 名分の“行動データ”を **HASC** (Human Activity Sensing Consortium) に提供し、“データ収集貢献賞”を受賞